

# 平成30年度 第2回 男女共同参画推進審議会



瑞穂市マスコットキャラクターかきりん

平成31年2月25日

## 議題(1)

平成30年度 実施事業について

◆資料1

平成30年6月27日(水)

聞いて 話して 学び合える！

～学生×社会人のワールド・カフェ～

【場 所】朝日大学 6号館1階学生食堂

【テーマ】「男性も、女性も、もっとできるようになるとよいこと」

【講 師】特定非営利活動法人 あゆみだした女性と子どもの会  
理事長 廣瀬 直美 様



平成30年6月27日(水)

聞いて 話して 学び合える！～学生×社会人のワールド・カフェ～

【後 援（参加事業所）】19事業所

梅田運輸(株)、大垣共立銀行 穂積支店、大垣西濃信用金庫 瑞穂支店、  
キッコーマンソイフーズ(株)、特定非営利活動法人 キッズスクエア瑞穂、  
岐阜信用金庫 穂積支店、クラウンジュエル岐阜、CONECOYA、(株)  
ジアス、十六銀行 穂積支店、社会福祉法人 新生会、説田音楽教室、武  
山アナウンスオフィス、日本郵便(株) 巣南郵便局、HuckleBerry、(有)  
ハヤシ製畳、ほづみ幼稚園、社会福祉法人 瑞穂市社会福祉協議会

(50音順)

平成30年6月27日(水)

聞いて 話して 学び合える！～学生×社会人のワールド・カフェ～

【参加者】

- 社会人 24名 (男性：12名、女性：12名)
- 学 生 52名

【託児利用者】

2名 (お子様3名)

【アンケート】

◆資料2 参照



平成30年11月7日(水)

## PTA母親委員会 母親ミニ研修会

【目 的】 子育て世代へ向けた男女共同参画啓発

【場 所】 瑞穂市総合センター あじさいホール

【テーマ】 「子育てで、地域で『幸せ』コミュニケーション」

【講 師】 コピーライター・プランナー

市民活動グループ「ウイ！エルダーマン」代表  
上鷗瀬 孝志 氏

【アンケート】 ◆資料3 参照



## 啓発物品配布

### ●クリアファイル

- ・商工会会報6月号
- ・ワールド・カフェ参加者（学生・社会人）、協力事業所
- ・母親ミニ研修会
- ・成人式

### ●ポケットティッシュ

- ・商工会会報12月号に同封
- ・母親ミニ研修会

### ●ウェットティッシュ

- ・ほづみ夜市
- ・彩の清流グルメ祭り



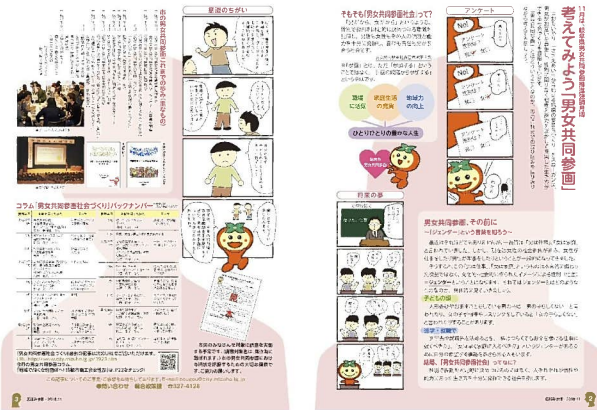
## 広報誌・ホームページによる啓発

掲載月	役職	名前
H30.6月	特定非営利活動法人いなほの会 理事長	村上 幸子さん
H30.9月	ダンサー	KARINさん
H30.11月	ハマセン株式会社 専務取締役 瑞穂市商工会女性部 部長	馬淵 ひとみさん
H31.3月 (予定)	(ラジオ番組「もくようみずほ78.5」より)	武山 幸子さん 相原 佳子さん

# 広報誌・ホームページによる啓発

11月 岐阜県男女共同参画推進強調月間にあわせた  
特集ページ

## ◆資料4



## 議題(2)

平成31年度 実施事業案について

## ◆資料1

平成31年10月または11月開催予定

## 瑞穂市文化講演会

【目的】 主に若年層の夫婦に向けた啓発

### 【過去の実績】

- 平成28年度文化講演会  
女優・戸板女子短期大学客員教授  
菊池 桃子氏
  - 30代、40代の参加者が多い傾向
- 20代～30代にも参加してもらえる  
講演会を目指す



## 議題(3)

### 市民意識調査について

◆資料5、6、7、8

## 市民意識調査結果まとめ

### ●男女平等に関する意識について

・法律(特に近年整備されたもの)が事業所や女性にあまり認知されていない。

→事業所や女性に「女性活躍推進法」などを周知していく必要がある。

## 市民意識調査結果まとめ

### ●男女の地位の平等について

・男性「平等である」／女性「男性優遇」、「家事は女性が多くやっている」という意識の違い

→男性が女性の置かれた状況を認識するため、意識の向上を図ることが必要

・仕事と家庭を両立することが難しい環境・男性自身の家事参加への抵抗感

→両立可能な環境づくり、男性の家事参加への抵抗感の払拭が求められる。

## 市民意識調査結果まとめ

### ●子育て支援について

- ・安心して子どもを産み育てるために必要なこと  
「経済的な支援の拡充」、「柔軟な勤務形態の充実」、「保育サービスの充実」

→経済的支援、働きながら子育てできる柔軟な働き方や、保育サービスの充実が求められている。

## 市民意識調査結果まとめ

### ●ワーク・ライフ・バランスについて

#### 市民

- ・家庭生活・地域活動・仕事を両立させたいが、実際は仕事優先になっている。
- ・職場の制度の整備を求める。

#### 事業所

- ・メリットを感じ、推進しているところもある。「女性にも働き続けてほしい」と考えている。
- ・代替人材の確保や業務負担の増大が課題

→人材確保のマッチングの支援などが必要



## 市民意識調査結果まとめ

### ●女性の活躍推進について

・男性優位の組織運営、推進する意識を持つ人が少ない。

→男女ともに意識啓発、女性に対する教育の機会の提供を呼びかけ、保育・介護サービスの充実、再就職しやすい環境の整備が必要